

第1回（仮称）市民図書館のあり方検討委員会資料

（図書館のあり方基本検討報告書抜粋）

平成24年5月8日

目次

1ページ	:	表紙	
2ページ	:	目次	
3ページ	:	図書館のあり方基本検討の背景と位置づけ	
4ページ	:	現市立図書館の概要	} 明石市立図書館 について
5ページ	:	明石市立図書館の状況	
6ページ	:	明石市立図書館について(まとめ)	
7ページ	:	新しい図書館についてのヒアリング①	} 明石市立図書館 を取り巻く状況
8ページ	:	新しい図書館についてのヒアリング②	
9ページ	:	関連計画等の把握	
10ページ	:	視察先、駅前図書館の状況	} 図書館のあり方
11ページ	:	照会先、駅前図書館の状況	
12ページ	:	図書館のあり方イメージ	
13、14ページ	:	図書館のあり方基本検討<案>	

図書館のあり方基本検討の背景と位置づけ

平成23年9月、明石駅前再開発ビル内に「(仮称)市民図書館」を整備(現市立図書館を移転)するとの方針が示された(明石駅前南地区再開発事業)。主な理由は以下のとおり。

●市民の意見・要望

2度のパブリックコメント
市民フォーラム
市政総合懇話会
市長懇談会



「図書館」が市民意見で1番多くの希望があった公共施設。

●現市立図書館の老朽化

現市立図書館は、建設から約40年経過し、老朽化が進んでいる。また、情報化など社会経済情勢の変化や市民ニーズが多様化、複雑化し、開館当時から図書館を取り巻く状況が大きく変化中、狭隘化が課題となっている。

●にぎわい・活性化

現市立図書館の年間貸出者数は21万人を超え、集客力があることから中心市街地の活性化に寄与。

●補助金の活用

図書館の整備により、新たな国の補助金制度の活用が可能。

(仮称)市民図書館を整備するにあたり、本書により図書館のあり方(基本理念・基本方針・機能・サービス等)を検討し、外部検討委員会及びコンサルタント業務発注(整備基本計画等)についての基礎資料とする。

現市立図書館の概要

～明石市立図書館について①～

名称	明石市立図書館
所在地	明石市明石公園1番27号
設置目的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため
開館	昭和49年10月



主な施設

- ・一般閲覧室
- ・児童室
- ・郷土資料室
- ・学習室
- ・少年室
- ・高齢者室
- ・おはなしの部屋
- ・移動図書館室
- ・食堂



主なサービス

- ・貸出・閲覧サービス
- ・予約(リクエスト)サービス
- ・レファレンス(調査相談)サービス
- ・複写(コピー)サービス
- ・館外返却サービス(12か所)
- ・移動図書館の運行
- ・団体貸出
- ・宅配サービス
- ・広報誌の発行
- ・HP上での図書館情報提供
- ・おはなし会の開催
- ・絵本の会の開催
- ・各種イベント(夏休みお楽しみ会等)の開催
- ・図書館見学受入(小学校等)
- ・職場体験受入(中学校等)



開館時間 午前9時30分から午後7時まで

- ①毎週月曜日(ただし、休日に当たる場合は開館)
- ②年末年始(12月29日～1月3日)
- ③館内整理日(毎月第3火曜日(ただし、休日に当たる場合は開館))
- ④長期整理日(4月から6月の間において、10日以内の連続した日)

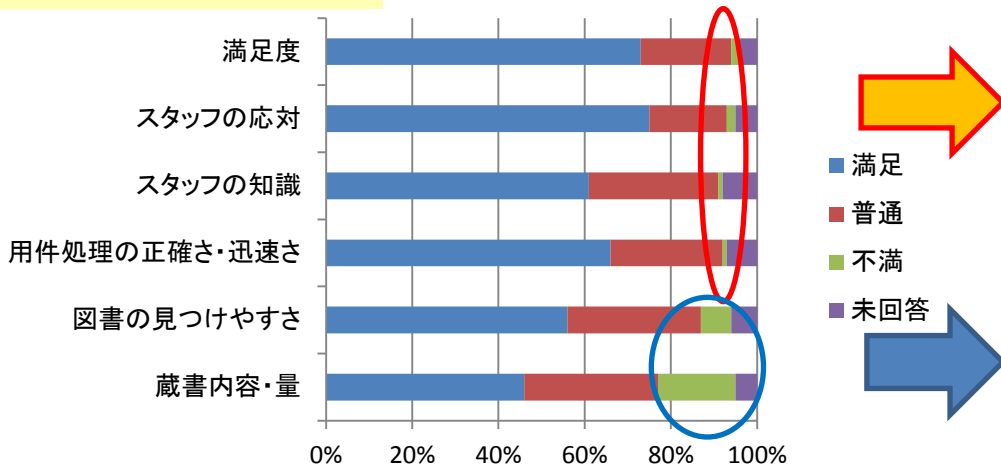
休館日

明石市立図書館の状況

～明石市立図書館について②～

利用者アンケート

(現市立図書館及び西部図書館で実施、平成23年11月、n=820)



全体的な満足度とサービスに関連する内容は不満足率が少なく、概ね満足

蔵書や本の見つけやすさに関連する内容は、他と比べると満足度が低い

- ・ より一層、市民の使いやすい図書館として、充実させる必要がある。

他市比較

(同規模自治体)

	人口	中央館蔵書冊数(千冊)	中央館面積(m ²)	総蔵書冊数(千冊)	市民1人当たりの図書館総蔵書数(冊)	図書館年間貸出率(%)
明石市	297,377	292	3,114	414	1.4	383.7
27市平均	267,723	446	4,058	688	2.5	203.5
27市MAX	385,637	760	11,440	1,062	4.3	383.7
27市MIN	206,101	242	1,441	297	1.4	119.4
明石市の順位	6位	25位	20位	24位	27位	1位

※平成21年度のデータ。

- ・ 年間貸出率が1位 ↔ 1人当たりの蔵書数は27位 ▶ 市民ニーズに対し蔵書が不足
- ・ 全体の面積は3,114m²であるが、開架スペースが一般・児童合わせて650m²と狭い。

特徴

- ・開館から約40年が経過
- ・明石公園内に立地
- ・県立図書館に併設(昭和49年10月同時開館)
- ・指定管理者が運営(平成18年4月より)

開館時間の延長	直営時:午前10時から午後6時まで ⇒ 現在:午前9時30分から午後7時まで
休館日の縮減	約10日間、休館日を縮減
宅配サービス	新しいサービスとして、来館困難者対応を実施
館外返却受付場所の増設	直営時:3か所 ⇒ 現在:12か所
子ども向けHPの開設	子どもが家や学校などからでも本について調べる環境を提供

状況

- ・全体的な満足度とサービスに関連する内容は不満足率が少なく、概ね満足。
- ・蔵書や本の見つけやすさに関連する内容は他と比べると満足度が低い。
- ・市民ニーズに対し蔵書が不足。
- ・開架スペースが狭い。

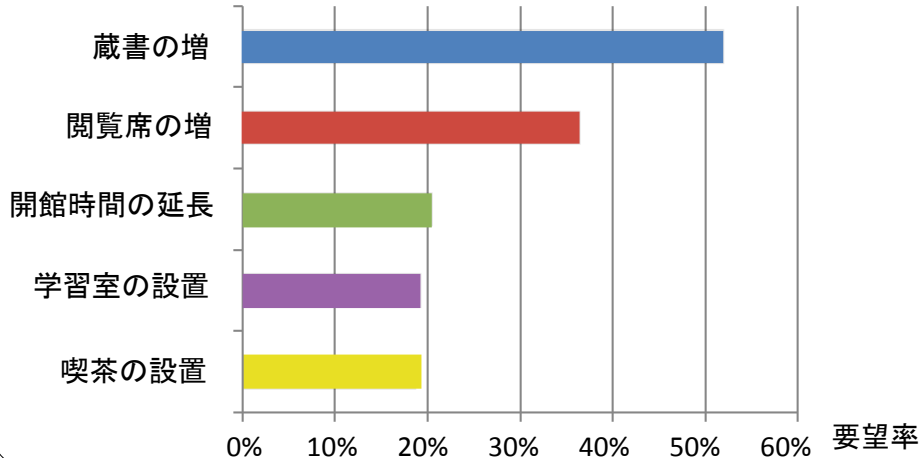
サービスや運営に関しては、満足度が高い状況だが、アンケート結果等から改善すべき点も確認でき、より一層、市民の使いやすい図書館として、充実させる必要がある。また、現市立図書館の施設等については、開館から約40年経過しており、それに伴う課題がある。

課題

- ・より一層、市民の使いやすい図書館として、充実させる必要がある。
- ・建物が、狭隘化、老朽化しており、バリアフリーや情報化への対応も不十分。
- ・蔵書の収容能力が限界に達しており、現行施設の改修では、大幅な拡大は望めない。
- ・明石公園内にあり環境面は良いが、駅から遠く、夕方は暗くなり、来館者から不安等の声がある。

利用者アンケート —新しい図書館に望むこと—

(現市立図書館で実施、平成24年1月、n=343)



自由意見

- ・図書館を中心とした公共サービスの充実
- ・幼児コーナーの充実
- ・電子図書(インターネット上で貸出)の利用
- ・市民要望を基にした各種企画。活動できる部屋の充実
- ・地域資料の充実

関係団体ヒアリングについて

市立図書館おはなしの会(ボランティア)

(児童サービスに求められる観点から)

- ・本を知り、子どもを知る図書館員が常にいることが必要である。
- ・良書を揃えること。
- ・明るく、温かみを感じられる施設がよい。

Casa メーコッコ

(みなくる(子ども図書館)運営委託業務受託団体)

(児童サービスや子育て支援の観点から)

- ・子どもの夢が膨らむような、専用のおはなしの部屋を設ける。
- ・児童用相談コーナーを設ける。
- ・保護者間の交流が図れる、施設・機能・サービスの提供。

テーマ別市長懇談会

(中心市街地の活性化)におけるご意見

○テーマの小部屋の設置

- ・期間を決め、一人の作家や一つの図書を紹介する小部屋。
- ・小さな部屋という、異空間で想像が広がり、より興味を魅かれ図書館に行く楽しみができる。

○調理室の設置

- ・絵本に出てくる料理について絵本を読んだ後、実際に調理する。
- ・図書館に足を運ぶきっかけとなる。

○旧作の貸出延長

- ・貸出率の低い図書は、貸出期間の延長を行う。

○本のベストテン表示

- ・興味のなかった本にも目が留まり、貸出率のアップにつながる。

○各種コーナーの設置

- ・工作・手芸コーナー・DVD視聴コーナー・作品展示コーナー

連携先(兵庫県立図書館)

(連携について)

①展示コーナーの共催

・共催は歓迎であり、明石市立文化博物館も含めて、3つの場所で、1つのテーマで共催も可能なのではないかとのこと。

②イベント共催

・現時点でも共催を行っており、今後より一層充実を図る。

③相互貸借運用

・駅前に移動した場合も市の連絡便等を利用することで、1日毎の相互貸借の運用を図っていく(他市は週に1回)。

④返却ポストの相互運用

・運用可能かどうか、今後検討する必要がある。

なお、県の要望としては、駅前の図書館に、県立の返却ポストの設置。または、市のポストの利用。

松岡享子理事長(東京子ども図書館、児童文学研究者)

①図書館職員

・図書館は人が大切である。特に子どもは、人を通じて本と繋がる。未来を担う子どもの為にも、「子どもと本」に強い思いのある人が必要である。

②子どもから見た望ましい図書館

・今のこどもは忙しく時間があまりないので、後にも残るいい本を読んでもらうことが大切である。

・よく吟味してよい本をそろえ、あまり多くない本の中から子どもがよい本を見つけることができるようにする。

③蔵書構成

・蔵書構成は地元の書店の傾向でどんな本が買われているかも考えて開架の構成を考える。

・10、20年後も読まれる本を置く。

④明石コレクション

・文化伝統を表したもの、土地に由来したもの、明石の作家の本、本の中に明石がでてくるもの、明石の風景画など明石にゆかりのある本を集める。

⑤本をキーワードにしたまちづくり

・明石は人口も多くなコンパクトであるので、ある程度全体のことをつかみやすく、明石には歴史や文化もある。新しい図書館をきっかけに、明石の土地と本が結びつき、本プラスαが発揮され、まちに愛着と誇りを生むようなしかけができれば良い。

○明石市の関連計画等について

計画等	期間	基本理念・方針・コンセプト等
明石市第5次長期総合計画	平成23年～平成32年度	ひと まち ゆたかに育つ 未来安心都市・明石
あかし教育プラン	平成23年～平成27年度	地域ぐるみで人を育てる ～ふるさと明石に愛着と誇りを持つ人を育てる～
明石市中心市街地活性化基本計画	平成22年11月～平成28年3月	人々の暮らしを、海・食・時で彩るまちに
明石市第2次子どもの読書活動推進計画	平成23年～平成27年度	ことばを学び、感性を磨き、表現力を高めるなど、多様な効果を持つ子どもの読書活動をより一層推進する

○図書館行政に係る国の動向（文部科学省）

報告書	策定時期	主な内容
地域の情報ハブとしての図書館 －課題解決型の図書館を目指して－	平成17年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決支援 ・個人の自立支援 ・地域の教育力向上支援
これからの図書館像 －地域を支える情報拠点をめざして－	平成18年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決を支援する相談・情報提供の機能の強化 ・図書館のハイブリッド化（印刷資料とインターネット等の組み合わせ） ・学校との連携による青少年の読書活動の推進 ・行政・各種団体等との連携による相乗効果の発揮

視察先、駅前図書館の状況

西宮市

(北口図書館)

① 駅前の図書館としてのサービス

- ・ビジネスコーナーの設置
- ・有料データベースの提供

② 運営面

- ・駅前に立地しており、閲覧席のニーズが高い
- ・複合施設であり、エスカレーターからの騒音の課題

③ 学校図書室との連携

- ・データ検索、物流のシステムを構成し、市としての図書利用の一体運営を実現



吹田市

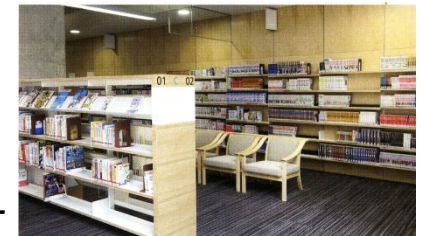
(山田駅前
図書館)

① ボランティアの活動が活発

- ・吹田は、24グループ、525名が活動
(明石は7グループ、約100名)

② 青少年拠点施設

- ・「夢つながり未来館」の施設として、子育て・青少年支援を下支え
- ・子育て・児童・青少年に関連する図書を重点的に配架



さいたま市

(中央図書館)

① 児童室の工夫

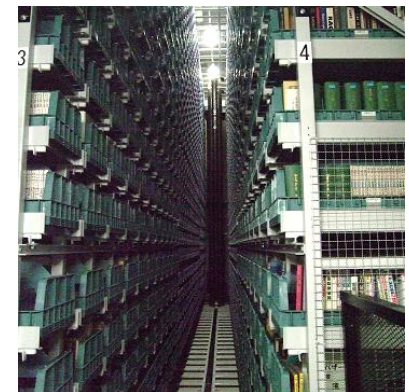
- ・防音のため、天井までの透明ガラスで仕切り
- ・天井までの9段の壁面高書架の上2段に落下防止用のストッパーをつけ、書庫として利用

② 最新の自動化

- ・ICタグを基に、自動貸出機、自動書庫、自動返却機導入
(自動返却機は返却の約40%で利用されている)

③ 閲覧席の運用

- ・開館時に行列ができ、安全面から利用者の館内待機を実施
- ・利用対象、利用時間、利用予約等運用に様々な工夫



基本理念、基本方針(キーワード)

- ・生涯学習、情報拠点、資料の充実、レファレンス、協働(参加型)、居場所(滞在型)、地域支援、子ども

駅前図書館に必要な施設・機能・サービス

(施設・機能)

- ・ICタグに基づいた業務の自動化(自動書庫、盗難防止ゲート等)
- ・滞在型を意識し、座席数を確保
- ・市民の利便性を考慮し、1階にブックポストを設置
- ・アクセスのし易さ(導線に配慮)
- ・学習席、社会人席、PC対応席等の設置
- ・概観から一目で図書館であることがわかるサイン
- ・ビジネス支援コーナーや有料データベース、ティーンズコーナーの設置

(サービス)

- ・開館時間延長、休館日の縮減
- ・図書館の利用に慣れていない利用者への配慮

(その他)

- ・他の公共施設との連携(同一建物内)
- ・カウンターからの見通し確保等、子どもの安全に配慮(防犯面の強化)
- ・企画展や各種事業の開催等を通じて利用者増を図るなど、まちのにぎわい創出

子どもを対象にした施設やサービス

(施設・設備)

- ・おはなしの部屋、じゅうたんコーナー、児童調べ学習室
- ・授乳室、子ども用便器・ベビーシート、子ども用水飲み場

(サービス)

- ・おはなし会(各年代向け、出張(小学校)、乳児健診等との連携)
- ・赤ちゃん利用カードの登録、ブックスタート

滞在型の図書館を実現する施設やサービス

(施設・設備)

- ・座席数の確保
- ・飲食ラウンジ、喫茶コーナー、AVブースの設置
- ・自由に親子が本を楽しめるコーナーの設置

(サービス)

- ・開館時間の延長、休館日の縮減
- ・資料の充実
- ・駐車場の無料(一定時間)

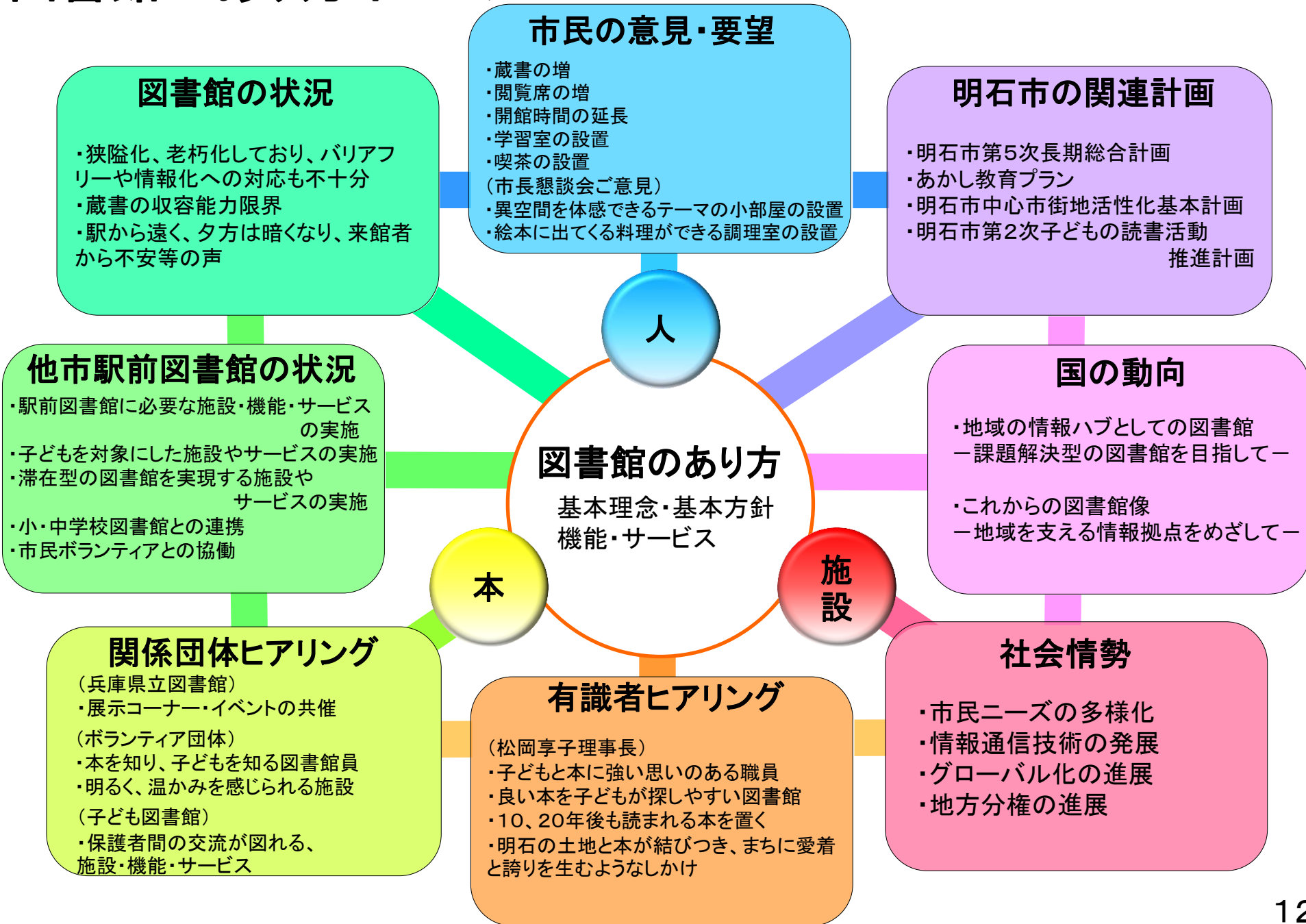
小・中学校図書館との連携

- ・団体貸出
- ・出前おはなし会、出張ブックトーク
- ・中学生を対象とした職場体験
- ・小学校読み聞かせボランティアを対象とした講習会
- ・学校図書館司書教諭への研修
- ・小中学校教員向け図書館利用案内の配布
- ・夏休みのおすすめのリストの作成・配布
- ・貸出カードの共通化

市民ボランティアとの協働

- ・幼児・児童対象のおはなし会、イベント、ブックスタートの補助
- ・音訳、点訳、対面朗読
- ・館内アナウンスCDの吹き込み
- ・本の修理、館内展示製作、配架、地域資料のスクラップ

図書館のあり方イメージ



基本理念

基本方針

人とまちを支える
情報拠点
「市民図書館」

—共に歩み、
共に成長を続ける—

市民一人ひとりの生涯学習を支える図書館

子どもの健やかな育ちを応援する図書館

明石の歴史・文化を理解し、愛着や誇りを育む図書館

地域を支え、協働のまちづくりを進める図書館

つどい・ふれあい・いこいの場となる図書館

基本理念の実現に
は、図書館職員の役
割が重要

図書館の3要素

- ・人 :75%
- ・本 :20%
- ・施設 :5%

図書館のあり方基本検討<案>

～図書館のあり方③～

基本理念

基本方針

機能・サービス

連携先

人とまちを支える
情報拠点
「市民図書館」

—共に歩み、
共に成長を続ける—

基本理念の実現には、
図書館職員の役割が
重要

図書館の3要素

- ・人 : 75%
- ・本 : 20%
- ・施設 : 5%

市民一人ひとりの
生涯学習を支える
図書館

- ・全市民が利用しやすい図書館(幅広い資料の提供、各世代に応じたコーナー設置、収蔵能力増)
- ・レファレンス(調査相談)サービスの充実(専門カウンター設置)
- ・通勤・通学者層を対象としたサービス(ビジネス支援、ティーンズサービスの充実)
- ・情報化への対応(ICタグ、インターネット・データベース閲覧)
- ・図書ネットワークの構築を推進(県立図書館、近隣大学図書館)
- ・書店やその他民間事業者との連携(テーマ展示の共催)

公共図書館
大学図書館
生涯学習センター
書店

子どもの健やかな
育ちを応援する
図書館

- ・子どもと保護者が安心して過ごせる図書館(職員と施設の充実)
- ・テーマ性を持ったコーナーの設置(子ども健やか広場との連携)
- ・地域図書館とのネットワークの構築を推進(学校、こども夢文庫等)
- ・おはなしの会等イベントの開催(読書活動推進、保護者間の交流)

子ども健やか広場
子育て支援センター
市内の学校園
こども夢文庫
市内ボランティア団体

明石の歴史・文化を
理解し、愛着や誇り
を育む図書館

- ・郷土資料コーナーの充実(郷土資料室)
- ・明石の玄関口として、観光客が必要とする情報を提供
- ・テーマ展示の充実(時、海、食のテーマ、展示コーナー)
- ・国際化への対応(HP・職員の充実)

文化博物館
天文学館
明石観光協会
県立図書館

地域を支え、
協働のまちづくり
を進める図書館

- ・レファレンスサービスの充実(地域課題の資料充実)
- ・ボランティアとの連携
(連携内容の拡充、コーディネート機能の強化)

小・中学校コミセン
市内ボランティア団体
県立図書館

つどい・ふれあい
・いこいの場となる
図書館

- ・全市民が利用しやすい図書館
- ・滞在型の図書館(AVコーナー、喫茶コーナー、閲覧スペース拡充・学習室)
- ・テーマ展示の充実
- ・イベント、研修会などの実施(研修室)
- ・明るく温かみのある空間創出

子ども健やか広場
イベント広場
書店